

# せとうち海岸漂着物対策調査 結果報告書（概要版）

平成27年3月

## 1 趣旨

平成21年7月、海岸漂着物処理推進法が制定され、全国で海岸漂着物への関心が高まっており、県内の海岸でも多くの海岸漂着ごみが存在し、ボランティア団体等により海岸清掃が実施されている。

今後、海岸清掃を継続実施していくため、清掃活動の課題等を把握し、関係者が連携・協力した対策を検討・推進する資料として、この調査を実施した。

## 2 県内の海岸漂着ごみ及び清掃活動の状況

海岸清掃しているボランティア等を対象に、アンケート調査を実施し、平成25年度における海岸清掃の活動及び回収量等を調査した。

### (1) 活動状況

- ・調査回答：計60団体（内訳）公的機関：16 漁協：15 NPO等：11 海関連事業者：9 公衛協等：6 事業者：3
- ・清掃活動：延べ74カ所，計127回の清掃活動を把握，約11,600人が参加

### (2) 回収状況

県内の海岸清掃で約228トンのごみを回収  
（自然系：約25%，人工系：約75%）

地域別※：西部地域のごみ量が3/4を占めている。

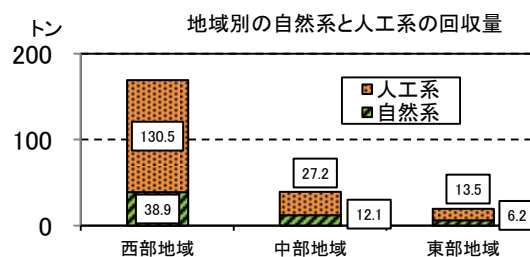
西部（広島・江田島・坂・廿日市）：県全体の74.2%

中部（呉・東広島・竹原・大崎上島）：県全体の17.2%

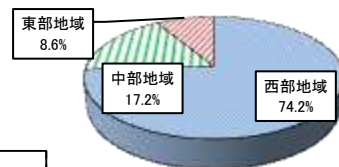
東部（三原・尾道・福山）：県全体の8.6%

※ 西部は倉橋島以西，中部は倉橋島以东～高根島，東部は高根島以东で区域分け

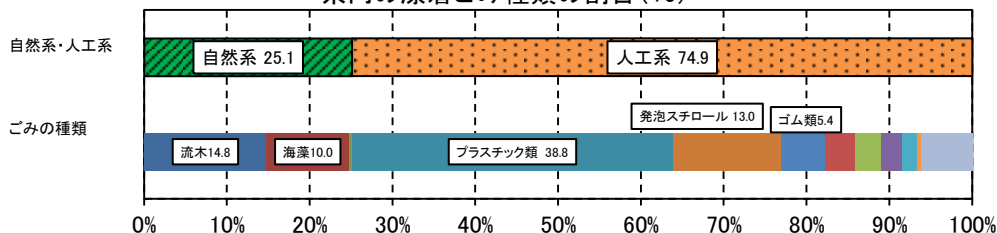
回収されたごみは，60団体中58団体で市町により処分されていた。



海岸漂着ごみの地域別の量(割合)



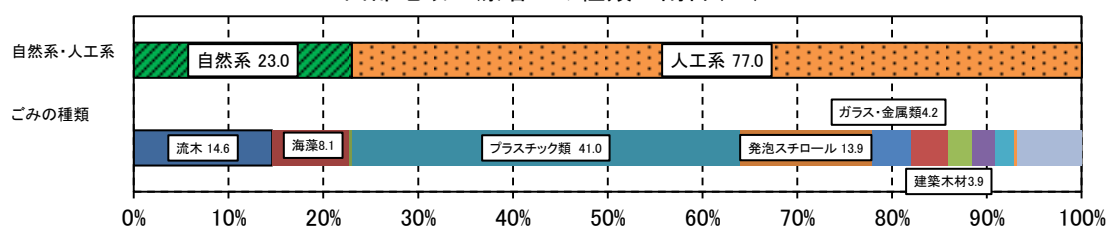
県内の漂着ごみ種類の割合 (%)



### (3) 地域別のごみの状況

西部，中部，東部共に人工系ごみの割合が約7～8割を占めている。特に，西部地域では，プラスチック類（カキ筏のパイプ，リング等），発泡スチロール（筏のフロート）等のカキ養殖に関連するごみが多く回収された。

西部地域の漂着ごみ種類の割合 (%)



### 3 海岸漂着ごみの清掃活動の実施状況

#### (1) ボランティア団体による清掃活動

NPO 法人，町内会，老人会，公衛協，公益法人の団体（計 44 団体）が，宮島等の自然公園，近郊の海岸等で清掃活動を実施している。

#### (2) リフレッシュ瀬戸内による清掃活動

平成 3 年 5 月，国（整備局及び運輸局）の提唱で，瀬戸内海沿岸の府県・市町村が住民に参加を呼びかけ，毎年 6～7 月，多くの参加者により海岸清掃が実施されている。

平成 26 年度実績：県内の清掃場所 23 カ所，回数は計 31 回，参加者は 4,329 人

#### (3) せとうち海援隊による清掃活動

県が海浜等で清掃・美化活動，生物調査等の環境保全活動を行う団体等を「せとうち海援隊」として認定しており，その団体により海岸清掃等の環境保全活動が実施されている。

せとうち海援隊に認定団体：34 団（H26.6 末現在）

#### (4) 企業による清掃活動の支援

##### ア トヨタ自動車

平成 24 年度から全国規模で実施されている環境保全活動で，県内では，毎年，宮島の海岸清掃が実施され，幅広い年齢層が参加し，住民が環境保全活動を実地に体験できるものとなっている。

平成 26 年度の実施状況：計 2 回実施（宮島包が浦海岸 170 名参加，腰細浦海岸 60 人参加）

##### イ アサヒビール

全国 47 都道府県に，自然や環境，文化財の保護・保全活動に活動費を支援しているもので，その資金を基に，NPO 法人ひろしま NPO センターが環境保全活動を募集，選考，承認して，海岸清掃等の環境保全活動が実施されている。

平成 25 年度の実施状況：計 20 団体が海岸清掃等の環境保全活動を実施

#### (5) 漁協による清掃

広島県漁業協同組合連合会が，県内の漁協に呼びかけ，毎年，「海の日」を基準日として，カキ関連資材，その他のごみの海岸清掃等の回収活動が実施されている。

平成 25 年度の実施状況：回収量 カキ関連資材 17.1 トン，その他のごみ 193.3 トン 参加者 4,666 人

### 4 海岸漂着ごみの発生原因及び解析

瀬戸内海は閉鎖性海域であり，その中で広島湾は島々に囲まれて閉鎖性を有している。また，広島湾は，宮島—能美島—江田島—倉橋島のルートで北部海域と南部海域に分けられる。

広島の特産であるカキは，安芸津以西の海域にあるカキ筏で養殖されており，特に北部海域にカキ筏が多い。

宮島北東海岸（包が浦など），江田島市西能美島，江田島湾の内湾は，特にカキ養殖に伴うごみが多いが，その原因として，次の事項が挙げられる。

#### 【カキ養殖のごみが多い原因】

- ・ 北部海域はカキ筏が多く存在している
- ・ 広島湾北部海域は閉鎖性の海域である
- ・ 潮流の速さが小さく，滞留する海域である
- ・ 小さな湾が多く，滞留しやすい場所が多い



宮島の包が浦は，太田川（放水路）の直下流に位置しており，漂着ごみが多い原因の一つ

国土地理院の『地理院地図（電子国土 web）を掲載

これらは江波，観音，草津，廿日市の沖合に多くのカキ筏が存在していることから，太田川の河川流や風向の影響も原因と考えられる。

## 5 清掃活動団体等との意見交換会

清掃活動の課題等を把握し，解決を図る必要があるため，関係団体等の協力を得て，計3回の「意見交換会」を開催した。

主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カキごみが多い実態，影響等を周知・認識し，対応を検討すべき</li> <li>○漁協と海岸漂着ごみの回収活動を連携して実施すべき</li> <li>○企業の自主的な環境活動を広め，企業と連携した海岸清掃活動を実施すべき</li> <li>○市町内部における清掃活動を情報共有し，効果的な海岸清掃を実施すべき</li> <li>○県と市町が連携し，多様な主体の参加により，海岸清掃を積極的かつ継続的に実施すべき</li> <li>○清掃の機会を積極的に利用し，海に関する意識の高揚を図るべき</li> <li>○海岸漂着ごみの実態を経年的に把握するため，回収したごみ量等を記録していくべき</li> <li>○海岸漂着ごみ回収活動の補助制度を，市町及び住民に周知し，もっと有効に活用すべき</li> </ul>
協力団体	宇品西学区衛生推進協議会，江田島カヌークラブ，環境省中国環境パートナーシップオフィス(EPO ちゅうごく)，NPO 法人地御前港遊漁船船主会，瀬戸内海国立公園宮島パークボランティア，東洋建設(株)中国支店，公益財団法人日本釣振興会中国地区支部，廿日市市大野10区，NPO 法人ハートシーズ，公益財団法人広島県セーリング連盟，(株)ひろしま港湾管理センター，宮島の磯・生き物調査団，みやじま未来ミーティング事務局 計13団体 15名(※順不同)

## 6 海岸漂着物対策が重点的に推進される区域(重点海岸)の候補選定

これまでの調査，清掃活動団体との意見・要望，関係市町の意見を参考に，海岸漂着物処理推進法で規定された地域計画の作成項目となっている「重点海岸」の候補として30地点を整理した。

所在地	重点海岸候補の名称
広島市	1 観音親水緑地 2 宇品海岸，みなと公園
廿日市市	3 大野鳴川海岸 4 地御前海岸，地御前港海岸，漁港周辺 5 宮島一般海岸入浜海岸，腰細浦海岸 6 厳島神社周辺海岸(網之浦/西松原/御笠浜/有之浦/長浜) 7 宮島杉之浦海岸，包が浦海岸
大竹市	8 阿多田島沿岸(長浦海岸等)
江田島市	9 長浜海岸 10 入鹿海岸(サンビーチおきみ) 11 長瀬海岸
坂町	12 ベイサイドビーチ坂，坂なぎさ公園(平成ヶ浜海岸)
呉市	13 音戸町大浦崎海岸 14 蒲刈町恋ヶ浜，県民の浜 15 倉橋町海越海岸 16 狩留賀海岸(ロマンチックビーチかるが) 17 豊町蒲野海岸，白濁海岸，野坂海岸 18 安浦町七浦海岸
竹原市	19 的場海岸 20 大久野島海岸
大崎上島町	21 大串海岸，野賀海岸
三原市	22 すなみ海浜公園 23 須之上海岸，大野浦海岸(佐木島)
尾道市	24 向島干汐海岸，大町海岸 25 向島立花余崎海岸，釣ヶ浜海岸 26 瀬戸田サンセットビーチ
福山市	27 内海町横山海岸 28 仙酔島 29 松永湾 30 宇治島

## 7 海岸漂着ごみ清掃活動の課題

アンケート調査、清掃関係団体等との意見交換等から把握した、海岸清掃活動の課題は次のとおりである。

	項目	内容
1	海岸漂着ごみの実態の周知・清掃活動の広報が不足	県内海岸に多くの漂着ごみが存在しており、主にボランティア団体等により海岸清掃が実施されていることが知られていないため、今後、こうした実態を広報することで、県民に関心を持ってもらい、多くの人に清掃活動に参加してもらう仕組みの検討が必要。
2	海岸漂着ごみの実態調査・記録が必要	海岸漂着ごみの清掃活動の記録、回収されたごみの種類、量などの記録が整理されていないことから、今後の効果的・効率的な清掃活動を実施するため、実態調査、清掃活動の記録が必要
3	海岸清掃実施の費用面の支援が必要	清掃活動の実施には、活動者が活動費の一部を負担し、回収したごみは市町の負担で処理されている現状にあることから、今後、継続した清掃活動を実施していくため、参加者や市町が負担している費用の支援、拡充が必要
4	清掃参加者との意見交換・協議、海岸漂着ごみの原因業者への対策の要請・協力	海岸清掃を効率的・効果的に実施するため、行政、海岸管理者、清掃実施団体が協議する場を設定するなどして、意見交換・調整していくことが必要 また、県内の海岸にはカキ養殖に伴う漂着ごみの割合が多い状況にあるため、業者自らの発生抑制の対策の実施を要請するとともに、漁協と連携・協力して清掃活動等を実施していくことが必要
5	清掃活動している企業等との連携が必要	近年、企業は、社会貢献として、海岸清掃等の環境活動(CSR)に取り組んでおり、住民に海ごみの実態の周知、海への関心の向上等に資する貴重な体験の場となっているので、今後、こうした企業活動と連携した積極的な取組が必要。
6	行政の関係部局の連携が不十分	海岸漂着ごみの対策は、県・市町の建設・環境・農林の各担当部署が各々の立場で実施しており、県・市町の窓口や協議する場がなく、行政の連携・対応が不十分でないかとの指摘

## 8 海岸漂着ごみの清掃を推進していくための対策

7で挙げた課題をもとに、海岸漂着ごみの対策を推進する方向性を、次のとおり取りまとめた。

	項目	内容
1	海岸漂着ごみ実態の周知及び清掃活動の広報	海岸漂着ごみの実態、清掃活動の状況等を収集して、ホームページ等により広報し対策の必要性等を啓発、清掃団体のホームページをリンクするなどして、海岸清掃を確認しやすい仕組みの構築
2	海岸漂着ごみの実態調査及び清掃活動の記録	県内の海岸漂着ごみの定期的な実態調査の実施、調査結果の集約、記録、公表 活動実施者に調査票を配布し、統一した調査方法として記録を保管
3	海岸漂着ごみの清掃活動の費用面の支援	県の「海ごみ対策事業補助(市町が実施する海岸漂着ごみ回収・処分費の1/2補助)」の継続、市町に補助制度の周知及び積極的活用による支援
4	清掃活動実施者の連携・協力、漁協との連携	行政・海岸管理者・清掃団体等による連絡会議等を開催し、課題・要望等の意見交換、各々の活動状況・計画の周知、今後の対策検討 漁業者に発生抑制の対策の要請、連携した活動の実施
5	企業のCSR活動との連携	企業がCSR活動で実施するものと連携し、多くの住民参加による海岸漂着ごみの清掃活動の体験実施、企業の積極的なCSR活動としての海岸清掃の提案・募集
6	行政の関係部局の連携	県・市町の行政機関、港湾・環境・農林等の関係部局の連携、関係部局の窓口整理・情報共有による効果的な海岸漂着ごみ対策の検討